

一般社団法人 日本自動車会議所
第86回定期総会

内山田 竹志会長 ご挨拶

日本自動車会議所会長の内山田でございます。

本日は、緊急事態宣言が解除されたものの、依然として新型コロナウイルス感染の収束が見通せない大変な時期にもかかわらず、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、平素から私ども日本自動車会議所の活動に、格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

なお、「県をまたぐ移動は自粛する」という政府の要請に基づきまして、私はTV会議での出席になっておりますが、理事の方々をはじめ、一部の方にもリモートで参加いただいております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の災禍は、尊い人命が奪われているのみならず、世界経済の広範な悪化をもたらしており、わが国においても数多くの国民や事業者が大変困難な事態に直面しております。改めまして、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、感染されている方々、不安で辛い日々を過ごされているすべての皆さまに、お見舞い申し上げます。

また、こうした状況の中、新型コロナウイルスの対応で日夜、最前線で対応しておられます医療関係の皆さま、政府・自治体の皆さま、あわせて、社会のライフラインである自動車の役割を果たすべく、社会や暮らしを支え続けるため、大変な尽力をされている会員をはじめとした自動車関連産業の皆さまに、心から深く感謝申し上げます。

まずは、感染防止を徹底することが、最優先ですが、今後、経済の再興に向けた動きを本格化させねばなりません。政府に対しましては、迅速かつ強力な支援策が求められるのは言うまでもありませんが、わが国経済において大きな地位を有する自動車関連産業といたしましても、国民の先頭に立つ気概をもって、一丸となってこの難局を乗り切ることができるよう、皆さまとここに誓いを新たにしたいと考えております。

自動車のさまざまな分野からなる総合団体たる日本自動車会議所も、微力ではありますが、そのお役に立てるよう、順次活動を進めてまいります。政府・与党との橋渡し役をつとめていくことはもちろんですが、通常の事業活動といたしましても、税制改正をはじめとした市場の活性化に加えて、死亡事故ゼロに向けた交通安全活動、自賠責保険料積立金の早期繰り戻しの実現やクルマ好きの拡大といった重点事業に引き続き取り組んでまいります。

現在の災禍によって、私どもは「100年に一度の変革期」を超えて、「100年に一度の試練」に直面しているのかもしれません。本日の総会は、当会議所に対しまして、直接様々なご意見をいただける大変貴重な機会と存じますので、活発なご審議のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上